

地方創成を目指す大学生の 島根県魅力発見ツアー企画プロジェクト

大学生企画の
旅で地域を
盛り上げよう！

地域政策学部地域政策学科地域経済経営コース3回生 荒木和真
地域政策学部地域政策学科地域経済経営コース3回生 福永球馬
地域政策学部地域政策学科地域づくりコース 2回生 矢田偉大
地域政策学部地域政策学科地域づくりコース 2回生 柳井海音

国際関係学部国際関係学科国際コミュニケーションコース2回生 高橋大地
国際関係学部国際関係学科国際関係コース 2回生 知久莉音
基礎教養部講師 田中典枝

1. 背景

島根県の現状
急速な人口減少・若年流出
少子高齢化・中山間地域の過疎化
地域経済の低迷

労働人口の確保

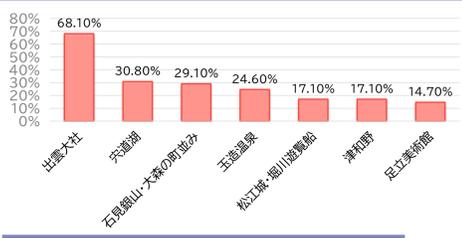
島根の魅力を発信
島根に興味を持つ人口を増やす



https://pref.shimane-toukei.jp/upload/user/00027735-hYc3BN.pdf

島根県の認知度調査結果

実施機関: 島根県
対象者: 首都圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)在住20代~60代男女
調査時期: 令和7年2月28日~3月3日
調査方法: WEB上でのアンケート



出雲大社(縁結び)
松江城(堀川遊覧船)
石見銀山
島根県東部の認知度 **高**

津和野の認知度は高い一方
西部は低い
島根県西部の認知度 **低**

島根県西部の認知度を
高めることで
この地域を広く知ってもらおう

- ①観光資源を活かした島根県西部のPR
- ②島根の魅力を高める取り組み
- ③学生の熱意と創意工夫で地域づくり



2年前、教養ラボの先輩たちが、文豪・森鷗外の出生地である津和野を多くの人に知ってもらいたいと考えたことがきっかけでした。視察を通して、津和野は実際の暮らしや奥深い魅力に触れられる町であり、一度では知り尽くせない場所だと感じました。だからこそ、「実際に津和野へ行ってみよう」と思ってもらえるオンラインツアーを目指しました。

津和野を選んだ1番の理由、
学部・コースの垣根を超えた多様なラボ生
メンバーのみんなが魅力を感じたから。

2. 目的

ありのままの津和野の魅力を
多くの人に体感してもらう

地域住民だからこそ知っている
津和野の魅力を発信すること



3. 活動のパートナー

島根県立大学×クラブツーリズム
「旅で地域を元気にする！」
島根の魅力発見オンラインツアー

仲間が広がる、旅が深まる
クラブツーリズム
「世界中の人と地域をつなぎ、
笑顔が循環する社会をつくる」

- 海外・国内の幅広い旅を提供する旅行会社
- 「地域の価値を地域と共に創る」という思いがある
- これまでも大学と連携し、各地の魅力を発信してきた
- 今回は「47カフェランチ」のオンラインツアーとして実施
- 「知る・食べる・歩く」を軸に、地域の魅力を体験する企画

ツアー概要

- クラブツーリズムと教養ラボの学生が、津和野をテーマにオンラインツアーを実施
- 津和野町×協力施設×大学生の連携
- イオンタウンふじみ野「cotokoto」から、津和野と中継して配信
- 専門的ノウハウと学生の視点を生かした内容とした

4. ツアーの計画と活動内容

ツアー計画過程

- 5/11 津和野視察
- 6/13 クラブツーリズムさんと企画制作開始
- 7/11 中間発表
- 8月 ツアー内容の改善
- 9月 ツアー内容の改善
- 10/4 津和野紹介用の動画撮影
- 10/6 動画の編集作業
- 10/14 動画の編集作業
- 10/17 最終発表
- 11/3 リハーサル1回目
- 11/15 リハーサル2回目
- 11/22 オンラインツアー本番

活動風景



中継で上領茶舗を紹介する高橋さんと荒木さん



中継でSLを待つ間、トークを頑張る矢田さん



当日、お手伝いしてくれたラボ生とツアー班



埼玉県ふじみ野市cotokotoから参加するお客様たち

ご協力いただいた店舗施設のご紹介

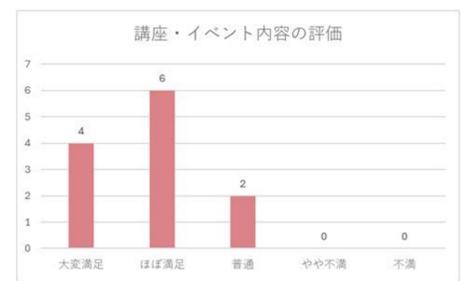
香味園上領茶舗 1930年創業。津和野町で最も歴史ある茶舗である。	竹風軒 本町店 1885年創業老舗和菓子店。津和野町内で最もはじめに源氏巻の販売を開始した。	沙羅の木 大正レトロな雰囲気のある老舗茶房源氏巻の製作をガラス越しに眺められる。	太鼓谷稲荷神社 1773年に創設。約1,000本の鳥居のトンネル300m先に神社が現れる。
永明寺 茅葺き屋根の本堂、庫裡・鐘楼などがあり、県指定有形文化財となっている。	鷲原八幡宮 社伝によると1387年に現位置に社殿を建立して遷座したと伝わる。	津和野カトリック教会 1931年に献堂。古い城下町とよく調和した豊敷きの教会。	津和野町観光協会 津和野観光に関する総合案内所で快適な旅行をサポートしてくれる。

5. まとめ

オンラインで「一緒に体験する」津和野ツアーの手応え

活動内容の振り返り

- 神社参拝では、参加者とリポーターと一緒に参拝する一体感が生まれた
- 通信の影響で一部見づらい場面はあったが、満足の声が多く寄せられた
- 津和野を知らない参加者にも、興味を持ってもらうきっかけとなった
- 企画やリハーサルを重ねる中で、準備と努力が当日の成功につながった



6. 今後の展望

教養ラボ生の関心から生まれた
オンラインツアーの次年度への展望

教養ラボは、春学期秋学期連続の通年科目で、異なるバックグラウンドを持つ学生たちが「課題探究」という視点で一つのクラスに集まって学ぶという特徴があります。毎年、集まった学生の興味・関心で行うことを決定するので、今年オンラインツアーを行ったツアー班はなくなるかもしれません。しかし、クラブツーリズムさんと協働し行ったこのツアーの経験は、来年も引き続き受講するラボ生によって、引き継がれていくものになるでしょう。もしかしら、来年は現地でツアーを行うかもしれないですね...!

来年度は現地でツアーを実現する！